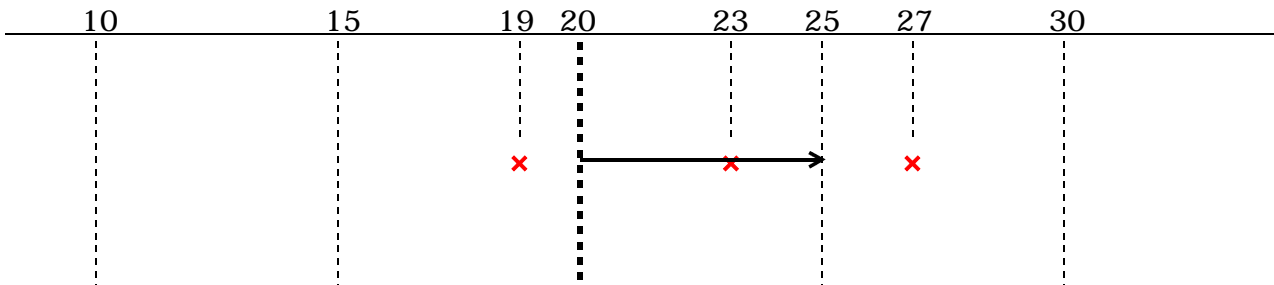


# ホールディングが発生した！

2007年 9月 2日作成  
2008年 4月27日更新

設定：自陣 20 ヤードから 1st- 10 のラン攻撃で 5 ヤード前進したが、ホールディングがあった。



**発生地点**：スクリメージラインより後方（スクリメージライン上含む）

記録なし。プレビアスポット（20 ヤード）から 10 ヤードの罰退で、次は自陣 10 ヤードから 1st- 20。

**発生地点**：スクリメージラインより前方で、ランエンドの地点より手前

反則発生地点（23 ヤード）まで前進したものと見なす。つまり、ランナーに 1 回 3 ヤードを記録。反則地点（23 ヤード）から 10 ヤードの罰退で、次は自陣 13 ヤードから 1st- 17。

**発生地点**：スクリメージラインより前方で、ランエンドの地点より先の地点

ランエンドの地点（25 ヤード）まで前進したものと見なす。つまり、ランナーに 1 回 5 ヤードを記録。ランエンドの地点（25 ヤード）から 10 ヤードの罰退で、次は自陣 15 ヤードから 1st- 15。

ラン、パスの結果ヤードをロスした場合、反則地点がどの地点であっても、反則はプレビアスポットから施行され、プレーヤーに記録はつかない（反則が辞退されることもある）。

## 逆算の方法

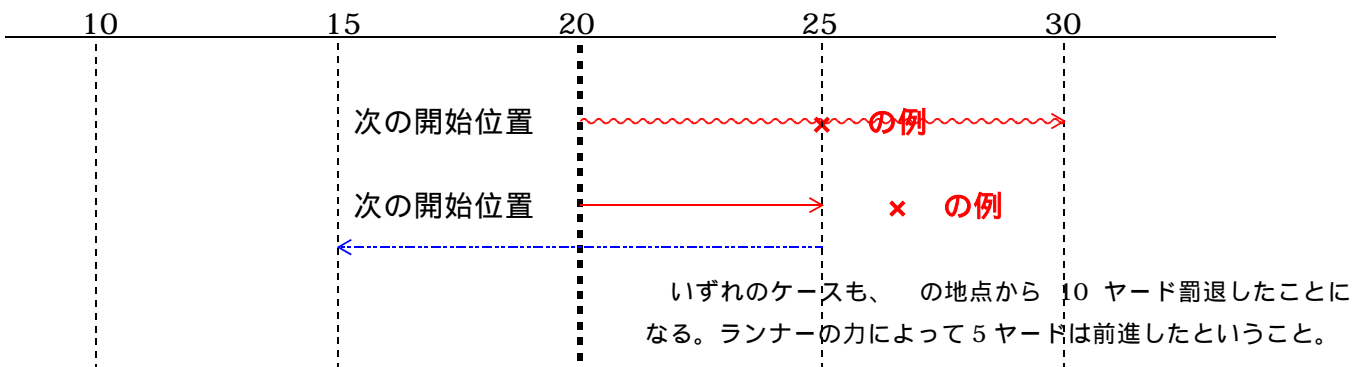
設定：自陣 20 ヤードから 1st- 10 のラン攻撃でホールディングが発生。

a. 次の攻撃は、自陣 10 ヤードから 1st- 20 だった。

プレビアスポットから罰則が施行されているので、反則地点はスクリメージライン上、もしくは後方だった事がわかる。よって個人に記録はなし。

b. 次の攻撃は、自陣 15 ヤードから 1st- 15 だった。

a. の例より 5 ヤード進んでいる。つまり上記の のように、スクリメージラインより前方でホールディングが発生している。そして の どちらであったとしても 結果は一緒なので、ランナーに 1 回 5 ヤードが記録される。



(ホールディングの罰退ヤード) - (前の攻撃地点 - 反則施行後の攻撃地点) = 獲得ヤード  
この場合、10 - (20 - 15) = 5 となる。ハーフディスタンスの場合は注意。